

○議長（堀内春美さん）

続いて、通告6番 2番 神田雅也君の一般質問を行います。
2番 神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

それでは通告に則りまして一般質問させていただきますが、今回はドッグランの運営についてということでさせていただきたいと思います。昨年、令和6年6月9日にオープンしました本町ドッグランですが、道の駅富士川の東側芝生広場において、愛犬関連のイベント2300名の来場のおかげもあり、利用者数はこの1年で5000名を超えていると聞いています。またワンパスアプリ、ワンパスというドッグランを使用するためのアプリの登録者数は県内5200件、県外220件と聞いており、非常に利用頻度も高まっていることに町民の1人として嬉しく思います。そこで、令和6年1月25日に行われました。町長の対話集会の資料の中に、ドッグランにおける本町の経済効果は1400万円と明記されておりました。本年で丸1年が経過したわけですので、質問をさせていただきます。

それでは一つ目の質問に移りたいと思います。ドッグランによる本町商店街への経済効果の実績について伺いたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまの質問にお答えします。ドッグランによる本町商店街への経済効果につきましては、具体的な数値の把握にはいたっておりません。しかしながら、昨年6月のオープン以降、ドッグランの利用件数は5000件を上回っております。さらに、ペットと同伴して訪れる方の多くが複数人での利用であることから、延べ利用者数は1万人近くに上るものと見込まれております。また隣接する道の駅富士川において開催された、ベッド関連のイベントには延べ約2300人の参加があり、その参加者がドッグランを利用していることも確認されております。これらの来訪者が、道の駅富士川を含め町内で消費活動を行ったことが考えられるため、町内においては一定の経済効果があったものと推察されるところでございます。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

一定の利用者数も伸びているので、5000名を超えていて複数人の使用ということで、1万人を超えているのではないかという推定の中でということで、経済効果があったということでの認識でよろしいですか。そういう中でですね、それはそういう答えになるだろうなとは思いつながらはいたんですが、実際にですね、1400万円の経済効果を見込んでいるということを言われていますので、ぜひその算出根拠をまずお聞かせ願ってもよろしいでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君、それは再質問ですか。

○2番議員（神田雅也君）

再質問です、すみません。

○議長（堀内春美さん）

都市整備課長 杉田進君。

○都市整備課長（杉田進君）

ただいまのご質問にお答えいたします。ドッグラン整備による経済効果につきましては、令和5年12月定例会の付帯決議におきまして、経済効果の算出根拠の説明を求められたことから、令和6年1月16日の議会全員協議会で説明をさせていただいたところでございます。今期につきましては、年間予測利用者数から買い物対象者数を約1万4000人とし、町内への経済効果は1400万円と説明させていただいたところでございます。以上です。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

確かにですね、全協で伺ったものもわかってはおりますが、そうは言ってもですねそういうものを出されたのであれば、それに基づいた中で実績を出していただけるものと思ったので、こういった質問をさせていただきました。

それでは二つ目の質問に移りたいと思います。今後のドッグランの利用者数の増加策について伺いたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

町民生活課長 芦澤晶子さん。

○町民生活課長（芦澤晶子さん）

ただいまのご質問にお答えします。町では、人と動物との共生社会の実現に向けて、ペットフレンドリーなまちづくりやペットツーリズムを推進しております。これらの一環として、ドッグランをオープンしたところ、現在まで多くの利用をいただき、飼い主同士の交流の輪も広まるなどにより、施設利用者が増加しております。こうしたことから、今後も、道の駅富士川と連携しながら、町の公式SNSなどを活用した情報発信を行い、犬の登録や狂犬病予防接種の際にチラシを配布するなど、施設の更なる認知度向上に努め、より魅力的で快適な利用環境の整備を進めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

利用者数増加というものがですね、非常に多分ドッグランを使っていくまたこの町に経済効果として落としていくためには、そういったアプリなんかもかなり必要になってくるのかなと思います。そのアプリのですね、登録者数を増やすこともこの町の経済効果に繋がると思いますし、ドッグラン、もっともっと賑やかになっていただければですね、道の駅周辺からでもいいので賑やかな町になっていただくことが、この町の賑わいの一助になると思っておりますので、ぜひですね狂犬病ワクチンの接種のご案内などにですね、QRコード、ワンパスのQRコードなんかをつけていただいて発信していただく、もしくはそういったものを

他のお店とかでやってるところにですね、どんどん表に出るような形でやっていただければいいのかなと思うんですが、そのQRコードの活用というかですね、どういうふうに考えているか教えていただきたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君、再質問ですか。

○2番議員（神田雅也君）

再質問です。

○議長（堀内春美さん）

町民生活課長 芦澤晶子さん。

○町民生活課長（芦澤晶子さん）

ただいまのご質問にお答えします。既にQRコードが付いたワンパスのチラシがございますので、このチラシを最大限に有効活用していきたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

もう1回再質問させていただきますが、そのワンパスのチラシを今後ですね、狂犬病ワクチン接種のご案内なんかに入れて配布していただけるということでしょうか。

○議長（堀内春美さん）

町民生活課長 芦澤晶子さん。

○町民生活課長（芦澤晶子さん）

ただいまのご質問にお答えします。先ほども答弁いたしました。犬の登録や狂犬病予防接種の際にチラシを配布するなどして、利用向上に努めてまいりたいと考えております。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

それでは三つ目の質問に入らせていただきたいと思います。ドッグラン利用者の本町商店街への今後の経済波及策、施策について伺いたいと思います。

○議長（堀内春美さん）

産業振興課長 望月奈緒美さん。

○産業振興課長（望月奈緒美さん）

ただいまのご質問にお答えいたします。現在町ではワンパスを活用し、ペットと同伴可能な店舗の登録を進めており、ドッグラン利用者の利便性向上と地域内周遊の促進を図っているところでございます。こうした取り組みは、商店街をはじめとする地域経済への波及効果が期待されるものと考えております。今後は、同伴可能店舗の更なる拡大を図るとともに、道の駅富士川で行われるベッド関連のイベントと連携しながら、町内への誘客と賑わいの創出に努めてまいりたいと考えております。以上でございます。

○議長（堀内春美さん）

神田雅也君。

○2番議員（神田雅也君）

では本町がですね進めるペットフレンドリーな、町長がおっしゃいますペットフレンドリーなまちづくりっていうものが、本当の意味でペットと共生するシステムが構築される。そしてまた本町が商店が経済が一層充実するというものを願っておりますので、ぜひまた進めていただければありがたいと思います。私の一般質問を終わらせていただきます。

○議長（堀内春美さん）

以上で、通告6番 2番 神田雅也君の一般質問を終わります。
ここで暫時休憩といたします。